

歳出予算事業概要書

款	08	土木費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	2503000000																	
項	02	道路橋りょう費							所属課名	商工課																	
目	02	道路維持費	0	0	3,570	2,580	0	0	内線番号																		
大	006	米子港旗ヶ崎工業団地道路改修事業(商工課)							実施 部			実施計画計上額															
中	00		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	章																		
小	00								節																		
細	0			0	0	2,500	0	80	節 細節																		
1. 事業の概要と必要性						節		本年度の財源内訳																			
(1) 事業の概要 米子港旗ヶ崎工業団地は、地盤沈下と鳥取西部地震の影響により、整備済の道路に沈下やうねりが生じ、交通安全上、排水機能上に支障がある道路や側溝が顕在化しており、事業所から早急な対応が求められているため、改修や補修の必要性が高い箇所の市道を改修、あるいは補修する。						区分		金額		財源		款		項目		節		細節		金額							
(2) 事業効果 道路舗装の改修により、通行の安全性を確保し、また、側溝の補修により排水機能を回復することによって、事業所の円滑な事業活動の基盤を担保する。						15		工事請負費		2,580		地方		22		01		05		01		005		2,500			
2. 根拠法令																											
3. 用地の状況																											
4. 基本計画との関連																											
5. 本年度の計画効果																											
(1) 道路舗装改修 L = 150m W = 4.4m 地盤沈下に伴い、市道が片側傾斜となっており、車両通行において事故の起きる危険性があるので、舗装改修によりこれを未然に防ぐ必要がある。																											
(2) 道路側溝床板取付 L = 30m 道路側溝上の鉄版が、側溝の傾斜によりグラついており、車両が乗り上げた際に騒音が発生している。住民から苦情が出ており、鉄版から床板に替えることで騒音を解消する。																											
(3) 道路側溝補修 地盤沈下や地震の影響で道路側溝に凹凸が生じているため、雨水が滞留し、夏期の湧水時に悪臭が発生し、食品製造に悪影響を及ぼしている。側溝底を補修し、排水機能を回復させることにより、これを解決する。																											
6. 財源の説明																											
事務事業報告の反映状況 評価結果・・・現状維持 当面年次的に整備を行っていく。企業進出が増大すれば、事業を拡大していく必要がある。																											
目的別 性質別																											

歳出予算事業概要書

款	08	土木費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	2503000000		
項	02	道路橋りょう費							所属課名	商工課		
目	02	道路維持費	0	0	13,419	0	0	0	内線番号			
大	011	米子港旗ヶ崎工業団地災害対策事業							実施 計 画	部		
中	00		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章		
小	00			0	0	0	0	0		節		
細	0			0	0	0	0	0		節		
										実施計画計上額		
1. 事業の概要と必要性						節			本年度の財源内訳			
(1) 事業概要						区分			金額			
当該工業団地は中海の高潮等による水位上昇時の排水機能を維持するために、H6から排水流末に排水ポンプを設置しているが、強雨時の流れによる大量のゴミ流入からスクリーン板が目詰まりし、ポンプの排水機能が低下するため、広範囲にわたって道路冠水が発生している。このため、除塵機を設置し、水害の発生を防止する。						15 工事請負費			0			
(2) 事業効果												
事業所の財産を水害から守り、市道通行の安全性を確保する。												
2. 根拠法令												
3. 用地の状況												
4. 基本計画との関連												
5. 本年度の計画効果												
(1) 事業計画												
除塵機 1基												
集塵ボックス 2基												
配線工事 1式												
防護フェンス 1式												
(2) 参考												
平成15年9月の大雨と台風による中海の潮位による水害では、当該工業団地内の日本緑地開発(株)に床上10cmの床上浸水が発生している。												
6. 財源の説明												
事務事業報告の反映状況												
評価結果・・・現状維持												
年次的に基盤整備を行っていく。												
目的別												
性質別												

歳出予算事業概要書

款	08	土木費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	2503000000				
項	03	河川排水路費							所属課名	商工課				
目	02	排水路維持費	8,000	5,235	3,750	3,750	0	0	内線番号					
大	008	和田浜工業団地排水対策	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 計画	部			実施計画計上額	
中	00	章												
小	00	節												
細	0	細節												
1. 事業の概要と必要性						節			本年度の財源内訳					
(1)事業の概要						区分	金額	財源	款	項	目	節	金額	
和田浜工業団地では、地元が工場排水が農業用水路に混入することを憂慮しており、これに対しては、市において平成2年に和田浜工業団地基本計画を策定し、年次的に排水路等の整備を実施してきた。当該整備予定箇所は、既に企業が立地されているが、前面道路の片側にしか側溝が整備されておらず、雨天時に道路が冠水し、通行に支障が生じているため、側溝未整備側からの苦情が出ており、市道の安全管理上からも、早急な整備が必要である。						13	委託料	地方	22	01	05	02	003	3,700
(2)事業効果						15	工事請負費							
道路側溝の整備により、企業活動の支障となっている道路冠水が解消され、当該工業団地のインフラ機能を高めるとともに、市道通行の安全性が確保される。						排水路新設改良事業								
2. 根拠法令														
3. 用地の状況														
4. 基本計画との関連														
5. 本年度の計画効果														
(1)事業計画														
片側道路側溝を両面道路側溝に改修し、工業団地のインフラ機能を向上し、道路交通の安全性を確保する。(L=7.5m) 施工予定箇所は別図のとおり。														
6. 財源の説明														
(1) 他市の状況						鳥取市、倉吉市、境港市それぞれに市が開発した工業団地を保有しており整備もされている。								
(2) 事務事業報告の反映状況						評価結果・・・現状維持 当面年次的に整備を行っていく。企業進出が増大すれば、事業を拡大していく必要がある。								
目的別														
性質別														

歳出予算事業概要書

款 項 目	08 02 02	土木費 道路橋りょう費 道路維持費	前年度	前年度	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	3002000000						
			当初予算	現計予算		うち復活額	一般財源	所属課名	土木課							
			231,726	220,772	238,053	211,207	0	0	内線番号							
大 中 小 細	事 業	業 目	財源内訳		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施計画計上額						
	001	道路維持補修事業														
	000															
	000															
	0			0	0	0	90,618	120,589								
1. 事業の概要と必要性						節			本年度の財源内訳							
<p>・事業目的 道路の陥没、舗装面の破損等を速やかに補修し、車輛及び歩行者の安全な通行を確保する。</p> <p>・事業効果 迅速に作業を行うことにより、事故を未然に防ぎ、万一事故が起きた場合でも被害を最小限に抑えることができる。</p>						区分		金額		財源		款 項 目 節 細 節		金額		
						1	報酬	1,572	使用	14	01	07	01	001	39,500	
						4	共済費	248		道路使用料						
						8	報償費	253	使用	14	01	07	01	002	3	
						11	需用費	3,800		行政財産使用料						
						12	役務費	300	使用	14	01	07	01	004	1,115	
						13	委託料	18,319		法定外公共物使用料						
						14	使用料及び賃借料	1,715	繰入	19	01	01	01	001	50,000	
						15	工事請負費	178,000		公共施設整備等基金繰入金						
						16	原材料費	3,000								
18	備品購入費															
22	補償補填及び賠償金	4,000														
2. 根拠法令																
3. 用地の状況																
4. 基本計画との関連																
5. 本年度の計画効果																
<p>・事業計画</p> <p>市内一円道路補修工事 203,946千円</p> <p>市内一円道路除草委託 14,000千円</p> <p>市内道路補修に伴う測量委託 4,000千円</p> <p>工食用材料購入 3,000千円</p> <p>物件移転補償 4,000千円</p> <p>事務費(非常勤職員報酬、土地借料等) 9,107千円</p>																
6. 財源の説明																
(1) 財源の説明																
使用料						道路占用料 NTT, 中国電力、中海テレビ等										
						法定外公共物使用料 NTT, 中国電力等										
						行政財産使用料 中国電力										
(2) 事務事業評価の反映状況																
充実・拡大																
今後さらに舗装の老朽化が進むこと、また、新たな市道認定にともなう管理対象道路の増加により、維持補修工事件数が増加すると考えられ、事業を拡大せざるを得ない状況である。																
目的別																
性質別																

歳出予算事業概要書

款 項 目	08 02 02	土木費 道路橋りょう費 道路維持費	前年度	前年度	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	3002000000					
			当初予算	現計予算		うち復活額	一般財源	所属課名	土木課						
			0	63,000	65,000	152,000	0	0	内線番号						
大 中 小 細	事 業	業 目	財源内訳		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実 施 計 画	部 章 節 細 節			実施計画計上額	
005 00 00 0	陰田町2号線維持補修事業			0	0	0	152,000	0							
1. 事業の概要と必要性						節			本年度の財源内訳						
事業の概要 平成17年7月の降雨により、オーシャンヒルズ住宅団地の市道陰田町2号線の舗装面にクラックが発生、大きくなったため、開発事業者とともに市道法面崩壊等のおそれがあると判断し、応急工事として土砂の取除きを行うこととなった。また、市道法面の安全性について調査、検討したところ、アースアンカー工法や軽量盛土等による法面の維持補修工事が必要となった。 事業の必要性 市道法面の維持補修工事を行うことにより、オーシャンヒルズ団地住民と市道通行者の安全を確保する。						区分		金額		財源	款 項 目 節 細 節			金額	
						13	委託料	225	諸収	21	03	03	03	144	152,000
						15	工事請負費	148,715							
						22	補償補填及び賠償金	3,060							
2. 根拠法令															
3. 用地の状況															
4. 基本計画との関連															
5. 本年度の計画効果						6. 財源の説明 道路損害賠償負担金（開発事業者に費用負担を求める。）									
・事業計画 (1) 全体事業計画 オーシャンヒルズ団地市道法面応急・補修工事 応急工事（工事費、委託費等） C= 37,000千円 補償費（中電・NTT等への物件移転補償費） C= 4,000千円 補修工事 C=174,000千円 合計 C=215,000千円 (2) 本年度の事業内容 応急工事 C= 670千円 補償費 C= 3,060千円 補修工事 C=148,270千円 合計 C=152,000千円															
目的別 性質別															

歳出予算事業概要書

款 項 目	08 02 05	土木費 道路橋りょう費 道路新設改良費	前年度	前年度	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	3002000000																			
			当初予算	現計予算		うち復活額	一般財源	所属課名	土木課																				
			289,000	289,000	240,000	240,000	0	0	内線番号																				
大 中 小 細	事 業 業 業 業	001 00 00 0	道路新設改良事業(通常分)			地方債	その他	一般財源	実 施 計 画	部	実施計画計上額																		
			財源内訳	国庫支出金	県支出金	240,000	0	0		章																			
				0	0		0		節																				
									細 節																				
1. 事業の概要と必要性						節			本年度の財源内訳																				
(1) 事業の概要 道路は地域住民生活環境の向上を図るための基本的な施設である。 本事業は狭幅道路の改良を図り、その道路空間を利用することにより住環境の向上改善を図る。						区分		金額	財源	款	項	目	節	金額															
(2) 事業効果 地域生活環境の向上と交通の円滑化が図られる。						11	需用費		地方	22	01	05	01	001	240,000														
						13	委託料	27,000																					
						14	使用料及び賃借料																						
						15	工事請負費	187,000																					
						17	公有財産購入費	8,000																					
						22	補償補填及び賠償金	18,000																					
2. 根拠法令																													
3. 用地の状況																													
4. 基本計画との関連																													
5. 本年度の計画効果																													
(1) 全体事業計画 危険度、困窮度、緊急度等の高い路線から年次的に整備を進めている。																													
(2) 本年度の事業内容 単独事業費要求内訳書のとおり																													
<table border="0"> <tr> <td>工事請負費</td> <td>187,000千円</td> <td>古市3号線改良工事外24件</td> </tr> <tr> <td>測量委託料</td> <td>27,000千円</td> <td>米川右岸堤線改良工事外9件</td> </tr> <tr> <td>用地費</td> <td>8,000千円</td> <td>一式</td> </tr> <tr> <td>補償費</td> <td>18,000千円</td> <td>一式</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>240,000千円</td> <td></td> </tr> </table>						工事請負費	187,000千円	古市3号線改良工事外24件	測量委託料	27,000千円	米川右岸堤線改良工事外9件	用地費	8,000千円	一式	補償費	18,000千円	一式	計	240,000千円										
工事請負費	187,000千円	古市3号線改良工事外24件																											
測量委託料	27,000千円	米川右岸堤線改良工事外9件																											
用地費	8,000千円	一式																											
補償費	18,000千円	一式																											
計	240,000千円																												
6. 財源の説明																													
(1) 財源の説明																													
地方債 道路橋りょう事業債 充当率75%																													
240,000,000円×75% = 180,000,000円																													
(2) 事務事業評価の反映状況																													
現状維持																													
住民の要望に応じていきたいが、現在の財政状況を考慮すれば、困窮度を勘案し優先度により整備を進めていく。																													
目的別																													
性質別																													

歳出予算事業概要書

款 項 目	08 03 02	土木費 河川排水路費 排水路維持費	前年度	前年度	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	3002000000						
			当初予算	現計予算		うち復活額	一般財源	所属課名	土木課							
大事業			133,190	133,190	109,910	100,516	0	0	内線番号							
中事業			財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 計画 細 節	部			実施計画計上額			
小事業				1,300	386	0	156	98,674		章						
細事業										節						
								節 細 節								
1. 事業の概要と必要性						節			本年度の財源内訳							
<p>・事業概要 既設排水路の改修及び補修を行い、雨水及び生活雑排水の排除を容易にし、不安のない市民生活を創造する。</p> <p>・事業の必要性 大雨等による浸水・冠水を防止するとともに、生活環境の改善を図るために必要である。</p>						区分		金額	財源	款	項	目	節	細	節	金額
						1	報酬	1,687	使用	14	01	07	02	002		
						7	賃金	473								
						12	役務費	3	河川	使用料						
						13	委託料	18,294	国庫	15	03	04	01	001	1,300	
						14	使用料及び賃借料	59	都道	16	03	04	01	001	386	
						15	工事請負費	76,000								
						17	公有財産購入費									
						22	補償補填及び賠償金	4,000								
2. 根拠法令																
3. 用地の状況																
4. 基本計画との関連																
5. 本年度の計画効果																
<p>・事業計画</p> <p>市内排水路補修工事 85,394千円</p> <p>市内排水路浚渫業務 13,294</p> <p>市内排水路補修に伴う測量業務 5,000</p> <p>物件移転補償 4,000</p>																
<p>・事業効果</p> <p>市内の浸水・冠水を防止し、市民の生活環境の改善が図られる。</p>																
6. 財源の説明																
(1) 財源の説明																
その他																
河川使用料 河川使用者から徴収する使用料 年間 156,000円																
国、県支出金																
樋門管理委託金																
国管理、県管理の樋門の操作、点検を国、県から委託を受けたことに対する委託金																
国管理樋門分 1,300,000円 県管理樋門分 386,000円																
(2) 事務事業評価の反映状況																
充実・拡大																
既設排水路の老朽化にともない、維持補修工事件数が増加すると考えられ、事業を拡大せざるを得ない状況である。																
目的別																
性質別																

歳出予算事業概要書

款 項 目	08 03 03	土木費 河川排水路費 準用河川改修費	前年度	前年度	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	3002000000							
			当初予算	現計予算		うち復活額	一般財源	所属課名	土木課								
			69,290	69,290	81,290	81,290	0	0	内線番号								
大 中 小 細	事 業 業 業 業	001 00 00 0	準用河川改修事業		財源内訳		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施計画		実施計画計上額			
				27,000	0	54,000				0	290						
1. 事業の概要と必要性						節			本年度の財源内訳								
(1) 事業の概要						区分			金額			財源 款 項 目 節 細 節			金額		
堀川は、大沢川を起点として市街化区域を流下し日本海に流れる河川である。近年この周辺は、急速な都市化の進展により河川の断面不足を招き、度々浸水被害が発生している。本河川の改修により被害の発生を防止するとともに、周辺地域の調和を図りつつ、水辺空間の整備を図り良好な生活環境を整えるものである。						2 給料			80			国庫 15 02 05 02 001			27,000		
(2) 事業の必要性						3 職員手当等						準用河川改修事業費補助金					
多自然型工法による河川改修で快適な河川空間を作り出すとともに、浸水被害の解消と地域の生活環境の向上に寄与する。						4 共済費			585			地方 22 01 05 02 002			54,000		
						7 賃金			151			準用河川改修事業					
						9 旅費			511								
						11 需用費			142								
						12 役務費			1,321								
						13 委託料			75,600								
						14 使用料及び賃借料			2,900								
						15 工事請負費											
						22 補償補填及び賠償金											
2. 根拠法令																	
3. 用地の状況																	
4. 基本計画との関連																	
5. 本年度の計画効果																	
(1) 全体事業計画																	
事業年度 S 63 ~ H 22																	
事業費 1,401,000千円																	
施工延長 841m																	
(2) 事業計画																	
事業概要						事業費 81,290千円 (内単独290千円)											
護岸工 L= 50m						工事費 75,600千円											
橋梁築造 1基						補償費 2,900千円(水道)											
						事務費 2,790千円											
(3) 効果																	
浸水被害の解消と地域の生活環境の向上に寄与できる。																	
6. 財源の説明																	
(1) 財源の説明																	
国庫補助金						81,000,000 × 1/3 = 27,000,000											
(補助対象経費) (補助率)																	
地方債						(81,000,000 - 27,000,000) × 75% = 40,500,000											
(補助対象経費) (国庫補助金) (起債充当率)																	
一般財源						81,000,000 - 27,000,000 - 40,500,000 + 290,000 = 13,790,000											
(補助対象経費) (国庫補助金) (地方債) (補助対象外経費)																	
(2) 事務事業評価の反映状況																	
現状維持																	
堀川流域の浸水被害が多数あり、早急に完成させる必要がある。																	
目的別																	
性質別																	

歳出予算事業概要書

款	08	土木費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	3002000000					
項	03	河川排水路費							所属課名	土木課					
目	04	排水路新設改良費	29,500	29,500	36,000	36,000	0	0	内線番号						
大	002	排水路新設改良事業(起債事業)	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 計 画	部			実施計画計上額		
中	00									章					
小	00			0	0	36,000	0	0		節					
細	0									細節					
1. 事業の概要と必要性						節			本年度の財源内訳						
(1) 事業の必要性						区分		金額		財源 款 項 目 節 細節			金額		
市内の排水路の通水機能の向上を図り、緊急性の高い排水路から年次的に改良することにより浸水被害を解消し、良好な生活環境を整える。						13	委託料	900	地方	22	01	05	02	001	36,000
(2) 事業の必要性						15	工事請負費	34,100							
浸水被害を解消し、生活環境の向上を図るために必要である。						19	負担金補助及び交付								
						22	補償補填及び賠償金	1,000							
2. 根拠法令															
3. 用地の状況															
4. 基本計画との関連															
5. 本年度の計画効果															
(1) 事業内容															
排水路改良工事 L = 280m															
設計業務委託 1件															
(2) 事業計画															
事業費 36,000千円															
工事請負費 34,100千円															
設計委託料 900千円															
補償費(水道移転) 1,000千円															
(3) 効果															
浸水被害の解消と生活環境の向上に寄与できる。															
6. 財源の説明															
(1) 財源の説明															
地方債															
36,000,000円 × 75% = 27,000,000円															
(事業費) (起債充当率)															
一般財源															
36,000,000円 - 27,000,000円 = 9,000,000円															
(2) 事務事業評価の反映状況															
現状維持															
今後とも、緊急性の高い箇所から年次的にすすめていく。															
目的別															
性質別															

歳出予算事業概要書

款 項 目	08 04 05	土木費 都市計画費 街路事業費	前年度	前年度	各課 要求額	調整結果額		所属課コード	3002000000						
			当初予算	現計予算		うち復活額	一般財源	所属課名	土木課						
			100,000	120,000	150,000	150,000	0	0	内線番号						
大 事 業	008	皆生温泉環状線 2 工区改良事業 (特定道路)	財源内訳		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 計 画	実施計画計上額				
中 事 業	00			0	0	150,000	0	0							
小 事 業	00														
細 事 業	0														
1. 事業の概要と必要性						節		本年度の財源内訳							
(1) 事業概要						区分		金額		財源 款 項 目 節 細 節		金額			
<p>本路線は、都市計画道路皆生温泉環状線として都市計画決定されている。 本事業区間は国道431号の開通、及び皆生地区の区画整理事業完了により、上福原地区への交通量が増加し近隣の小学校、保育園、公民館等の公共施設を利用する歩行者等の安全確保が出来ない状況にある。 本路線の整備により通勤、通学の安全を確保するとともに、地域生活環境の向上を図る。</p> <p>(2) 事業効果 沿線の文教施設への交通の利便性、地域生活環境の向上と、通勤、通学の安全が図られる。</p>						9	旅費	33	地方	22	01	05	03	001	150,000
						11	需用費	842	街路事業						
						12	役務費	125							
						13	委託料	2,500							
						15	工事請負費	35,500							
						17	公有財産購入費	18,000							
						22	補償補填及び賠償金	93,000							
2. 根拠法令															
3. 用地の状況															
4. 基本計画との関連															
5. 本年度の計画効果						6. 財源の説明									
(1) 全体事業計画						(1) 財源の説明									
計画延長 L = 350m W = 6.0(16.0)m 施工年度 H.12 ~ H.19 全体事業費 C = 900,000						地方債 都市計画事業債 充当率90% 150,000,000円×90% (2) 事務事業評価の反映状況 現状維持 当初の計画どおり平成18年度までに道路整備を完了させたい。									
(2) 本年度事業概要															
施工延長 L = 350m 家屋調査 4軒 用地補償 用地取得 A = 253m ² 物件移転補償 一式						本工事費 C = 35,500 調査委託料 C = 2,500 用地補償費 C = 111,000 用地費 C = 18,000 補償費 C = 93,000 事務費 C = 1,000 計 150,000									
目的別															
性質別															

歳出予算事業概要書

款	08	土木費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	3004000000													
項	04	都市計画費							所属課名	都市計画課													
目	01	都市計画総務費	0	0	4,100	0	0	0	内線番号														
大	027	都市計画マスタープラン見直し調査事業							実施 計 画	部													
中	00		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章		実施計画計上額											
小	00			0	0	0	0	0		節													
細	0									細節													
1. 事業の概要と必要性										本年度の財源内訳													
<p>事業概要 旧米子市と旧淀江町で、それぞれ策定している都市計画マスタープランを、新市の一体的発展を図る観点から見直しを行い、新市都市計画マスタープランを策定する。</p> <p>事業効果 本計画は、新市における都市計画の基本的方針であることから、今後実施すべき都市計画指定並びに都市計画事業等の指針となる。</p>										節		金額		財源		款		項目		節		金額	
										区分		金額		財源		款		項目		節		金額	
										11	需用費					0							
										13	委託料					0							
2. 根拠法令																							
都市計画法第18条の2																							
3. 用地の状況																							
なし																							
4. 基本計画との関連																							
なし																							
5. 本年度の計画効果																							
<p>事業計画 都市計画マスタープランの見直し</p> <p>事業効果 本計画は、新市における都市計画の基本的方針であることから、今後実施すべき都市計画指定並びに都市計画事業等の指針となる。</p> <p>その他特記事項 全体事業費は9,500千円であり、債務負担行為によって平成18年度から19年度の2カ年で実施する。</p>																							
6. 財源の説明																							
ア. 財源内訳の積算基礎																							
一般財源																							
イ. 合併協定項目等																							
協定項目25-24類型																							
ウ. 事務事業評価の反映・・・現状維持																							
「平成19年度中に作成する予定であり、その際には市民に対して十分な周知を行うとともに、都市計画事業の円滑な推進を図っていく。」																							
目的別																							
性質別																							

歳出予算事業概要書

款	08	土木費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	3004000000								
項	04	都市計画費							所属課名	都市計画課								
目	01	都市計画総務費	50,000	49,858	50,000	50,000	0	0	内線番号									
大	031	旧加茂川・寺町周辺地区街なみ環境整備事業	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 計画 細節	実施計画計上額								
中	00									25,000	0	19,500	0	5,500				
小	00																	
細	0																	
1. 事業の概要と必要性						節			本年度の財源内訳									
事業の概要 旧加茂川・寺町周辺地区 2.3haは、歴史的資産又は歴史的風致を形成している街なみを有する地域として、平成11年に景観形成地域に指定している。歴史的景観の保全・継承、住環境の向上を図る目的で、地区住民と市が協働で街なみ整備を進めていくものであり、平成16年度は事業計画を策定し、平成17年度より事業着手している。						区分			金額		財源			金額				
事業効果 住民は、街なみに配慮した住宅の改造、敷地の緑化等を行い、市は街なみに配慮した道路の美装化・小公園等の整備を行うことにより、旧加茂川・寺町周辺地区が持つ土蔵群や町家景観などの歴史的景観の保全・継承、住環境の向上を図ることができる。						9	旅費	110	国庫	15	02	05	03	013	25,000			
2. 根拠法令 景観形成条例に基づく景観形成地域の指定、景観形成市民団体及び景観形成協定の認定						11	需用費	850		街なみ環境整備事業費補助金								
3. 用地の状況						12	役務費	40	地方	22	01	05	03	008	19,500			
4. 基本計画との関連 米子市景観形成条例、米子市景観形成基本計画						13	委託料	2,200		都市計画事業								
5. 本年度の計画効果 事業内容 用地測量1式・街なみ修景ガイドライン作成費 1式 工事費 旧加茂川遊歩道整備 L=100m、案内施設整備N=3基 景観形成市民団体活動助成事業補助金 1式 街なみ整備助成事業補助金 10件						15	工事請負費	35,800										
6. 財源の説明 1 財源内訳 国費 25,000千円 地方債 18,700千円 2 事務事業評価の反映状況 評価結果...現状維持 今後の事業実施にあたっては現状維持とするが、住民のニーズや社会的構造の変化等に柔軟に対応し、地域住民、民間事業者、行政が役割分担を明確にし、それぞれの立場でできることを実践していく。						17	公有財産購入費	0										
						19	負担金補助及び交付	11,000										
目的別 性質別																		

歳出予算事業概要書

款 項 目	08 04 01	土木費 都市計画費 都市計画総務費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード 3004000000	所属課名 都市計画課	内線番号			
						うち復活額	一般財源							
大 中 小 細 事業	043 00 00 0	景観計画等策定業務	0	0	684	0	0	0	実施 計 画	部 章 節 細 節	実施計画計上額			
財源内訳	国庫支出金 県支出金	地方債 その他										一般財源		
1. 事業の概要と必要性						節			本年度の財源内訳					
事業の概要 旧米子市は、平成8年に景観形成基本計画を定め、平成10年には景観形成条例を制定し良好な景観が保全・創出されるよう景観行政を進めてきた。合併により新市となり、旧淀江町を含めた新たな景観形成基本計画を速やかに策定する必要がある。また、平成16年6月の景観法制定を受け、今後は景観法に基づき景観行政を進めていくことを検討する必要がある。本年度は、景観形成基本計画又は景観計画の策定に向けて市民の意向調査を行う。						区分		金額		財源		款 項 目 節 細 節		金額
事業効果 市民の景観への意向調査を行うことにより、今後の景観形成の計画策定に反映させていくことができる。						9	旅費	0						
						11	需用費	0						
						12	役務費	0						
						13	委託料	0						
2. 根拠法令 景観法、米子市景観形成条例														
3. 用地の状況														
4. 基本計画との関連														
5. 本年度の計画効果 景観計画策定のための基礎調査 既定計画等の整理 景観資源及び景観阻害要素の把握 景観形成上の課題の整理 市民意向の把握														
6. 財源の説明 1 財源内訳 ア. 合併協定項目等 合併協定項目：25 - 24 都市計画関係事業(8) 景観 イ. 事務事業評価の反映状況・・・再検討 「景観形成を計画的に推進するために必要なものと認められるが、景観形成基本計画と比較すると住民に対する規制強化につながる計画であるので、策定の是非を含めて住民の意見を十分に把握した上で方針を決定する必要がある。」 現状のままでは、法律によらない現存の景観形成条例で対応することになり、総合的な規制誘導ができにくい可能性がある。 仮に景観計画を策定しない場合でも、現在の景観形成条例に基づく景観形成基本計画を旧淀江町区域を含めて速やかに策定する必要があり、その策定に関してほぼ同様の事業費が必要となる。														
目的別 性質別														

歳出予算事業概要書

款	08	土木費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	3005000000					
項	04	都市計画費							所属課名	建築指導室					
目	04	建築指導費	0	0	5,452	5,452	0	0	内線番号						
大	014	米子市震災に強いまちづくり促進事業	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 計 画	部			実施計画計上額		
中	00									章					
小	00			2,707	1,300	0	0	1,445		節					
細	0									細節					
1. 事業の概要と必要性						節			本年度の財源内訳						
(1) 事業概要						区分			財源			款 項 目 節 細節		金額	
<p>阪神・淡路大震災以降、平成12年の鳥取県西部地震など全国のいたるところで大規模な地震が発生し、既存建築物の耐震性の向上を図ることが重要課題となっているため、住宅及び建築物の耐震診断を実施する所有者にその費用の一部を補助する。</p> <p>(2) 事業効果</p> <p>地震による被害は、利用者への被害だけでなく、通行人や避難路の寸断等周囲に与える影響が大きいため、耐震診断の促進や耐震化の啓発を図ることにより、地震に強い街づくりを推進できる。</p>						9	旅費	18	国庫	15	02	05	03	017	2,707
						11	需用費	234							
						19	負担金補助及び交付	5,200	都道	16	02	07	02	014	1,300
2. 根拠法令															
(参考) 建築物の耐震化の促進に関する法律第4条による指導・助言															
3. 用地の状況															
4. 基本計画との関連															
5. 本年度の計画効果															
(1) 事業計画															
<ul style="list-style-type: none"> 耐震診断補助 住宅(一戸建て) 30戸、建築物(一戸建て住宅以外) 2棟 耐震診断・耐震改修に関する相談窓口の開設 簡易耐震診断の紹介、情報提供(パンフレット、ビデオ等貸出し) 															
6. 財源の説明															
1 財源内訳															
補助事業名：(国) 住宅・建築物耐震改修等事業															
(県) 鳥取県震災に強いまちづくり促進事業															
補助基本額															
・耐震診断															
住宅(一戸建)：60千円(補助率：国1/3、県1/6、市1/6、事業者1/3)															
建築物(上記以外)：3,000千円(補助率：国1/3、県1/6、市1/6、事業者1/3)															
・耐震化誘導施策 補助率：国1/2、市1/2															
目的別															
性質別															

歳出予算事業概要書

款 項 目	08 04 02	土木費 都市計画費 公園費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	3006000000					
						うち復活額	一般財源	所属課名	都市整備課						
			258,671	293,160	240,469	236,422	0	0	内線番号						
大 中 小 細	事 業 業 業 業	001 00 00 0	都市公園及び屋外体育施設管理事業		調整結果額	地方債	その他	一般財源	実施 計 画	実施計画計上額					
財源内訳			0	46	0	16,548	219,828								
1. 事業の概要と必要性						節			本年度の財源内訳						
(1) 事業の概要 都市公園及び屋外体育施設において、市民が安全で快適に利用できるように維持管理を行う。						区分			金額						
(2) 事業の必要性 公園施設を利用する住民や近隣住民が安全で快適に利用できるように、除草、剪定及び芝刈り等を行い、適切な管理を行うとともに体育施設を安全で快適に使用できるようにするために必要である。						金額			財源 款 項 目 節 細 節						
2. 根拠法令 都市公園法、米子市都市公園条例、米子市体育施設条例、米子市公有財産規則						4	共済費	0	使用	14	01	07	03	001	1,900
3. 用地の状況 一部の公園で賃貸借、無償賃貸借契約を締結しているが、ほとんどの土地が市有地。						7	賃金	0							
4. 基本計画との関連						9	旅費		使用	14	01	08	05	002	12,948
5. 本年度の計画効果						11	需用費	958							
(1) 事業計画 公園の維持管理については、平成18年度から指定管理者に委託することで経費節減を図られ、市民が安全で快適に都市公園や屋外体育施設などを利用できる。						12	役務費	355	都道	16	03	04	02	002	46
						13	委託料	193,133							
						14	使用料及び賃借料	34,718	諸収	21	03	03	03	006	1,700
						15	工事請負費	6,500							
						18	備品購入費								
						19	負担金補助及び交付	740							
						22	補償補填及び賠償金	0							
						27	公課費	18							
6. 財源の説明						(1) 財源内訳 一般財源によるが、公園を適正に管理することで都市公園の使用料等が米子市都市公園条例の規定により、また、屋外体育施設の使用料等が米子市体育施設条例の規定により収入が見込まれる。									
						(2) 事務事業評価の反映状況・・・効率化・改善 都市公園等の維持管理については、平成18年度から指定管理者に行わせることになっている。									
目的別 性質別															

歳出予算事業概要書

款 項 目	08 04 03	土木費 都市計画費 土地区画整理費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	3006000000	
						うち復活額	一般財源				所属課名
大 中 小 細 事業	022 00 00 0	米子駅前西土地区画整理事業(公園整備)	0	0	25,761	0	0	0	内線番号		
		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施計画			
			0	0	0	0	0	実施計画計上額			
								実施計画			
								実施計画			
								実施計画			
1. 事業の概要と必要性						節			本年度の財源内訳		
事業の概要 本年度事業費 25,761千円 工事請負費 25,761千円 事業効果 平成17年度3月に換地処分を行ったが、米子駅前西土地区画整理事業で使用した仮設住宅が公園予定地になっており、仮設住宅を解体撤去し公園として整備を行う。						区分			金額		
						15 工事請負費			0		
2. 根拠法令											
3. 用地の状況											
4. 基本計画との関連											
5. 本年度の計画効果 公園予定地に建っている仮設住宅を撤去し、本来の目的である公園整備を行う。											
6. 財源の説明											
1 財源の内訳 一般財源											
2 事務事業評価の反映状況 評価結果 現状維持 清算事務は平成19年度で完了する予定であり、公園整備も予算措置さえできれば、すぐに完了するものであるため、計画どおり事業を推進する。											
目的別 性質別											

歳出予算事業概要書

款 項 目	08 04 01	土木費 都市計画費 都市計画総務費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額		一般財源	所属課コード 4001000000	所属課名 業務課	内線番号	
							うち復活額	一般財源					
大 事 業	009	下水道事業特別会計繰出金	2,206,229	2,247,392	2,541,296	2,232,540	0	0					
中 事 業	00		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 計 画	部 章 節 細 節	実施計画計上額		
小 事 業	00			0	0	0	18,890	2,213,650					
細 事 業	0												
1. 事業の概要と必要性						節			本年度の財源内訳				
公共下水道の整備を促進し、生活環境の改善及び河川・湖沼の水質保全等を促進することを目的とし、下水道事業特別会計に繰り出しを行う。						区分		金額	財源	款 項 目 節 細 節			金額
						28	繰出金	2,232,540	繰入	19	01	01	07
									公共下水道事業推進基金繰入金				
2. 根拠法令													
3. 用地の状況													
4. 基本計画との関連													
5. 本年度の計画効果													
6. 財源の説明									H17基金積立金（H17公共下水道事業推進基金補助金）取崩額 9,527千円				
目的別 性質別													

歳出予算事業概要書

款 項 目	08 04 01	土木費 都市計画費 都市計画総務費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	一般財源		所属課コード 3001000000	所属課名 管理課	内線番号																																			
							うち復活額	一般財源																																						
大 事 業	003	駐車場事業特別会計貸付	69,827	70,426	63,508	148,903	0	0																																						
中 事 業	00		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 計 画	部 章 節 細 節	実施計画計上額																																			
小 事 業	00			0	0	0	0	148,903																																						
細 事 業	0																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">節</th> <th colspan="6">本年度の財源内訳</th> </tr> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th colspan="2">金額</th> <th>財源</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>節</th> <th>細</th> <th>節</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21</td> <td>貸付金</td> <td></td> <td>148,903</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												節						本年度の財源内訳						区分		金額		財源	款	項	目	節	細	節	金額	21	貸付金		148,903							
節						本年度の財源内訳																																								
区分		金額		財源	款	項	目	節	細	節	金額																																			
21	貸付金		148,903																																											
<p>1. 事業の概要と必要性 事業の概要 駐車場及び駐輪場の円滑な運営を図るため、企業会計の繰出基準に準じて貸付金を支出する。</p> <p>2. 根拠法令</p> <p>3. 用地の状況</p> <p>4. 基本計画との関連</p> <p>5. 本年度の計画効果 事業内容 下記の基準により、駐車場事業特別会計に対して貸付金を支出する。 ・駐車場の起債償還利子の8割 ・駐輪場の起債償還元金、起債償還利子及び駐輪場管理事業の赤字相当額</p> <p>6. 財源の説明</p>																																														
<p>目的別 性質別</p>																																														

歳出予算事業概要書

款 項 目	08 04 06	土木費 都市計画費 錦海団地分譲事業費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード 3001000000	所属課名 管理課	内線番号														
						うち復活額	一般財源																		
大 中 小 細 事業	001 00 00 0	錦海団地分譲事業	65,316	143,490	243,568	48,388	0	0	実施 部 章 節 細 節	実施計画計上額															
財源内訳	00	0									0	0	48,388	0											
1. 事業の概要と必要性						節		本年度の財源内訳																	
事業の概要 住宅建築のための宅地需用に対し、道路・公園等の住環境の整備された優良な宅地(残16区画)を供給し、計画的な住宅街の形成を図ることを目的とする事業。その目的の達成のために、水面埋立法の手法により生み出した祇園町沖25.4haについて、一団の住宅地として低層住宅及び集合住宅等の誘導を図り、緑豊かな居住環境を創出するとともに、機能的で快適な団地として分譲事業を実施する。						区分		金額		財源		款		項		目		節		細		節		金額	
事業の効果 平成元年の事業開始以来、平成17年度までに141,092㎡の分譲を行い、錦海町一丁目～三丁目まで均整のとれた美しい町並みを形成しつつある。						7		賃金		126		財産		17		02		01		01		002		48,388	
						11		需用費		30															
						12		役務費		2,429															
						13		委託料		45,803															
2. 根拠法令																									
3. 用地の状況																									
4. 基本計画との関連																									
5. 本年度の計画効果																									
事業計画 ・一般分譲用地残区画につき、早期の分譲完了を図る。 ・分譲の斡旋を行った住宅メーカー等に対し手数料を支払い、分譲の促進を図る。																									
6. 財源の説明 錦海団地分譲収入 1区画平均価格 16,129,603円 5区画売却すると見込んでの積算。 16,129,603円 × 5区画 = 80,648,015円																									
事務事業評価の反映状況...効率化・改善 「財団法人米子市開発公社に対する債務解消のため、分譲促進方策を検討するとともに当該公社との委託契約の内容を精査し、委託料の減額に取り組む必要がある。」 総区画数の9割以上が分譲済であり、今後事務量が増加する可能性は少ないが、引き続き空き区画の除草等、維持管理を行う必要がある。また、未分譲区画の早期売却を達成するため、新たな販売手法の検討が必要である。																									
目的別 性質別																									

歳出予算事業概要書

款 項 目	08 02 03	土木費 道路橋りょう費 市町村道整備事業費	前年度	前年度	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	3002000000								
			当初予算	現計予算		10,000	10,000	うち復活額	一般財源	0	0	0	所属課名	土木課				
大 中 小 細 事業	018 00 00 0	口陰田1号線改良事業(交付金B)	0	0	10,000	10,000	0	0	内線番号									
			財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 計画 細 節	実施計画計上額								
				5,500	0	4,500	0	0										
1. 事業の概要と必要性						節			本年度の財源内訳									
(1) 事業概要						区分			金額			財源 款 項 目 節 細 節			金額			
<p>本路線は市道愛宕町口陰田線を起点とし、右側に日御崎神社を通過し再び市道愛宕町口陰田線に至る346mの路線であるが、内日御崎神社参道横から終点交差点部の災害対策工事完了までの区間110mは未改良の狭幅道路の上、県の急傾斜地崩壊危険箇所であり市道利用者、沿道の民家が法面崩壊による危害を受ける状況にさらされている。本事業は、狭幅道路の改良を図り、道路利用者、沿道の民家の安全を確保するとともに住環境の向上改善を図る。</p> <p>(2) 事業効果 当区間の改良により市道利用者、及び沿道住民の人命・財産を守り地域生活環境の向上と交通の円滑化が図られる。</p>						9 旅費			20			国庫 15 02 05 01 003			5,500			
						11 需用費			416			臨時地方道路整備交付金						
						12 役務費			64			地方 22 01 05 01 003						4,500
						13 委託料			9,500			市町村道整備事業						
2. 根拠法令																		
3. 用地の状況																		
4. 基本計画との関連																		
5. 本年度の計画効果																		
(1) 全体事業計画																		
計画延長 L = 110m W = 4.0m 施工年度 H. 18 ~ H. 20 全体事業費 C = 60,000																		
(2) 本年度事業内容																		
計画延長 L = 110m 測量試験費 一式						測量試験費 C = 9,500 事務費 C = 500 計 10,000												
6. 財源の説明																		
(1) 財源の説明																		
国庫補助金 臨時地方道路整備交付金 総事業費の55%を補助対象事業費とし、その補助率100% $10,000,000円 \times 55\% \times 100\% = 5,500,000円$ 地方債 道路橋りょう事業債 総事業費から補助金を控除した額の95% $(10,000,000円 - 5,500,000円) \times 95\% = 4,200,000円$																		
(2) 事務事業評価の反映状況・・・実施																		
「当該工事は、県の急傾斜地崩壊危険箇所指定されている市道法面の反故工事であり緊急性が認められることから、実施が適当である。」																		
目的別																		
性質別																		

歳出予算事業概要書

款 項 目	08 05 02	土木費 住宅費 住宅建設費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード 3003000000	所属課名 建築課	内線番号		
						うち復活額	一般財源						
大 中 小 細	014 00 00 0	市営大工町住宅耐震調査事業	0	0	3,604	2,624	0	0					
			財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 計 画	部 章 節 細 節	実施計画計上額		
				1,143	0	0	0	1,481					
1. 事業の概要と必要性						節			本年度の財源内訳				
<p>事業の概要 市営大工町住宅は昭和54年度建設であり、昭和56年度建築基準法改正による新耐震基準の建物ではない。 住宅・建築物の耐震性の向上のために建築物の耐震診断を行い、今後の整備計画に反映させるために調査事業を行う。 事業効果 耐震性を確認し、今後の住宅整備計画に反映させる。</p>						区分		金額		財源	款 項 目 節 細 節		金額
						13	委託料	2,624	国庫	15 02 05 04 010	建築物耐震改修等事業費補助金	1,143	
2. 根拠法令 住宅・建築物耐震改修等事業制度要綱													
3. 用地の状況													
4. 基本計画との関連													
5. 本年度の計画効果													
<p>事業計画 住宅・建築物耐震改修等事業補助金を活用し、市営大工町住宅の耐震診断を行う。 計画効果 耐震性を確認し、今後の整備計画に反映させる。</p>						6. 財源の説明 財源の説明 補助金額は建築物耐震改修等事業補助金交付要綱からの算出による限度額、残りは一般財源を充てる。 事務事業評価の反映状況 「本事業の実施を支持し、当該事業は、安全性の観点からも実施が適当である。」との評価を得ている。							
目的別 性質別													

歳出予算事業概要書

款 項 目	08 05 02	土木費 住宅費 住宅建設費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	3003000000			
						うち復活額	一般財源						
大 中 小 細 事業	015 00 00 0	市営住宅需要実態調査事業	0	0	1,819	0	0	0	所属課名	建築課			
									内線番号				
			財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 部 章 節 計 画 細 節	実施計画計上額			
				0	0	0	0	0					
1. 事業の概要と必要性						節		本年度の財源内訳					
事業概要 米子市・淀江町合併に伴い、「米子市公営住宅ストック総合活用計画」(平成14年度策定)を見直し、新米子市における市営住宅の需要実態調査を行い、「地域住宅計画」策定の基礎資料とする。						区分	金額	財源	款	項	目	節	金額
事業効果 入居者の意識調査を行い、ストック活用計画の見直しに反映させることで、既存公営住宅の有効活用を図る。						13	委託料						0
2. 根拠法令 地域における多様な需要に応じた公営住宅等の整備等に関する特別措置法													
3. 用地の状況													
4. 基本計画との関連													
5. 本年度の計画効果 事業計画 地域住宅交付金を活用し、旧淀江町営住宅75戸に実態調査を行う。 計画効果 旧淀江町は公営住宅ストック活用計画を策定しておらず、合併によるストック活用計画の見直しを行い、地域住宅計画策定に反映させる。						6. 財源の説明 財源の説明 事業費の45%は地域住宅交付金、残55%は一般財源を充てる。 事務事業評価の反映状況 「当該業務は、地域住宅交付金を活用して行うこととしているが、一般財源も100万円程度必要であり対象客体も少ないことから、直営を検討するべきである。」との評価を得ているが、今後の市営住宅整備及び地域住宅計画等の策定において必要な業務であるので今回の事業実施を行いたい。							
目的別 性質別													

歳出予算事業概要書

款	08	土木費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	3003000000											
項	05	住宅費							所属課名	建築課											
目	02	住宅建設費	0	0	9,226	8,786	0	0	内線番号												
大	016	市営住宅防災機器設置事業							実施 計 画	部											
中	00		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章											
小	00			3,953	0	0	0	4,833		節											
細	0									細節											
											実施計画計上額										
1. 事業の概要と必要性						節			本年度の財源内訳												
事業概要 市営住宅において、平成7年度以前に建設した住宅については住戸内に火災報知機を設置していない。平成16年法律第65号による改正消防法第9条の2の規定により、住宅の用途に供される建築物の関係者に対し、就寝の用に供する居室及び当該居室から避難に用いる屋内階段等に、住宅用防災機器の設置及び維持が義務付けられた。 事業効果 計画的に事業を行い、設置を完了し安全な住環境の整備を図る。						区分		金額		財源		款		項		目		節		金額	
						15	工事請負費	8,786		国庫	15	02	05	04	009	地域住宅交付金		3,953			
2. 根拠法令 消防法																					
3. 用地の状況																					
4. 基本計画との関連																					
5. 本年度の計画効果																					
事業計画 住宅用火災警報器(煙感知式)の設置。 平成18年度より5ヵ年計画で設置を完了する。 本年度は230戸に設置予定。 計画効果 計画的に事業を行い、安全な住環境を整備する。																					
6. 財源の説明						財源の説明 事業費の45%は地域住宅交付金、残55%は一般財源を充てる。 事務事業評価の反映状況 「本事業の実施を支持し、当該業務は消防法の改正により、新たに住宅用防災機器の設置が義務付けられたことに伴うものであり、実施が適当である。」との評価を得ている。															
目的別 性質別																					

歳出予算事業概要書

款 項 目	08 05 02	土木費 住宅費 住宅建設費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	3003000000			
						うち復活額	一般財源	所属課名					
017	017	市営白浜住宅建替事業	0	0	34,620	34,140	0	0	建築課				
000	000		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施計画	実施計画計上額			
000	000			15,183	0	18,500	0	457					
000	000												
1. 事業の概要と必要性						節		本年度の財源内訳					
事業概要 市営白浜住宅は昭和35年、昭和45年～46年度に建設したもので、老朽化も著しいので、平成18年度～20年度の3カ年において建替を実施する。						区分		金額		財源 款 項 目 節 細 節		金額	
事業効果 建替を実施し、入居者に良好な居住環境の住宅の提供を図り、全体の住宅環境の向上を誘導していく。高齢者等が安心して生活できるバリアフリー住戸を建設し、世代やハンデキャップを越えて住民が共生できる住宅団地を創造する。						2 給料		414		国庫 15 02 05 04 009		15,183	
						9 旅費		92		地域住宅交付金			
						11 需用費		753		地方 22 01 05 04 002		18,500	
						12 役務費		30		公営住宅建設事業			
						13 委託料		14,830					
						15 工事請負費		18,000					
						19 負担金補助及び交付		21					
						27 公課費							
2. 根拠法令 公営住宅法													
3. 用地の状況													
4. 基本計画との関連													
5. 本年度の計画効果						6. 財源の説明							
事業計画 平成18、19年度を1期、19、20年度を2期としそれぞれ16戸ずつ合計32戸建設予定。18年度は地質調査及び設計業務及び旧住宅の解体除去工事を実施する。						財源の説明 地域住宅交付金 (補助対象事業費)(交付金率) 33,740千円 × 45% = 15,183千円 公営住宅建設事業債 (事業費) (交付金) (充当率) 33,740千円 - 15,183千円 × 100% = 18,500千円							
計画効果 新市まちづくり計画及び地域住宅計画に基づき、中長期に亘る住宅供給を行う。交付金・起債を活用し、標準設計等を行い総合的なコスト縮減を図り、良好な住環境の整備を実施する。						事務事業評価の反映状況・・・実施 「本事業の実施を支持し、当該住宅は、本市の市営住宅の中で建築年次も一番古く、老朽化も著しいことから実施が適当である。」							
目的別 性質別													

歳出予算事業概要書

款	08	土木費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	3004000000							
項	04	都市計画費							所属課名	都市計画課							
目	01	都市計画総務費	0	0	3,520	2,800	0	0	内線番号								
大	028	彫刻のあるまちづくり推進事業							実施 計 画	部							
中	00		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章							
小	00			0	0	0	0	2,800		節							
細	0			0	0	0	0			節							
											実施計画計上額						
1. 事業の概要と必要性						節			本年度の財源内訳								
<p>この事業は、平成8年に策定した「彫刻のあるまちづくり」基本計画に基づき、米子彫刻シンポジウムで製作された作品を、駅周辺・加茂川沿い・湊山公園等に設置し約5kmの彫刻ロードを完成させるものである。</p> <p>この彫刻ロードを建設することにより、個性ある都市景観の形成と市民生活に心の豊かさを与えると共に、人々のふれあいの場と地域文化の創造に役立つことができる。</p>						区分		金額		財源	款	項	目	節	金額		
						11	需用費		0								
						15	工事請負費		2,800								
2. 根拠法令																	
3. 用地の状況																	
4. 基本計画との関連																	
5. 本年度の計画効果																	
<p>米子駅前広場及び西部県民局前庭にそれぞれ2基の彫刻を設置することにより、彫刻ロード約5kmが繋がることになる。</p>																	
6. 財源の説明																	
目的別																	
性質別																	

歳出予算事業概要書

款 項 目	08 04 02	土木費 都市計画費 公園費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード 3006000000	所属課名 都市整備課	内線番号					
						うち復活額	一般財源									
大 中 小 細 事業	002 00 00 0	弓ヶ浜わくわくランド運営事業	41,186	103,952	0	99,127	0	0								
			財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 計 画	実施計画計上額						
				0	0	0	17,897	81,230								
1. 事業の概要と必要性						本年度の財源内訳										
(1) 事業の概要 本わくわくランドは、(財)米子市福祉事業団が運営を行っていたが、平成17年度をもって当事業団の解散が決定されたため、市が継続して管理運営を図る。						区分		金額	財源	款	項	目	節	細	節	金額
(2) 事業の必要性 財政健全化プランによるわくわくランドの存続・廃止については、より多くの市民等から意見を求めて方針決定する必要があり、その方針が決定するまでの間として、11月まで運営を続ける必要がある。						4	共済費	0	使用	14	01	07	03	003		17,897
2. 根拠法令 都市公園法、米子市都市公園条例、米子市都市公園有料公園施設管理規則						7	賃金	0								
3. 用地の状況 全てが米子市有地						8	報償費	0								
4. 基本計画との関連						11	需用費	9,950								
5. 本年度の計画効果						12	役務費	26								
(1) 事業計画 次の事業の実施を予定する。 大型遊具保全として、ドラゴンノスタ施設の補修や毎年実施している車軸検査を行い、安全性と利便性を図る。						13	委託料	56,214								
遊園地を委託等により適正な管理運営を図る。						14	使用料及び賃借料	292								
(2) その他特記事項 平成17年度まで福祉事業団は、(財)米子市公園協会に管理運営を委託していたが、平成17年度末をもって当協会の解散も決定されている。						15	工事請負費	0								
6. 財源の説明						16	原材料費	0								
(1) 財源内訳 一般財源によるが、遊具使用料等の収入が見込める。						18	備品購入費	0								
(2) 他市の状況、合併協定項目等 山陰地方には、直接遊園地を運営する自治体は少なく、それぞれ状況が異なっている。						19	負担金補助及び交付									
(3) 事務事業評価の反映状況 評価結果...効率化・改善 当該施設の運営及び今後のあり方について、早急に方針を決定する必要がある。						23	償還金利息及び割引	32,645								
他事業で予算要求があった弓ヶ浜わくわくランド関係経費について、予算査定時に事業として区分したもの																
目的別 性質別																

歳出予算事業概要書

款 項 目	08 04 02	土木費 都市計画費 公園費	前年度	前年度	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	3006000000					
			当初予算	現計予算		うち復活額	一般財源	所属課名	都市整備課						
			3,000	3,000	10,836	0	0	0	内線番号						
大 中 小 細	016 00 00 0	湊山公園施設整備事業	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 計 画	部	実施計画計上額				
				0	0	0	0	0		章					
										節					
										細節					
1. 事業の概要と必要性						節			本年度の財源内訳						
(1) 事業の概要 当公園は、全園開園(平成元年3月31日)以来施設の老朽化が進み、いたる箇所で補修の必要性が高くなっている。その中でも特に緊急を要するのが猿舎の檻となる金網の老朽化による張替えや屋根の葺き替えを行うことである。						区分			金額		財源		款 項 目 節 細節		金額
(2) 事業効果 猿舎は、昭和61年に設置以来市民を始めとする県内外からの公園利用者に親しまれてきている。32匹にも及び猿が檻から逃げ出すことなく、今後も良好な環境で飼育することができ、公園利用者にも安全な状態で猿を見てもらうことができる。						15 工事請負費			0						
2. 根拠法令 都市公園法、米子市都市公園条例、文化財保護法、米子市文化財保護条例、風致地区等															
3. 用地の状況 一部民有地は賃貸借契約、一部国土交通省より占用															
4. 基本計画との関連															
5. 本年度の計画効果															
(1) 事業計画 次の事業を予定 ○ 公園内にある猿舎の金網張替えや屋根の補修工事を実施する。															
6. 財源の説明															
(1) 財源の説明 一般財源によるもので都市公園の使用料等で米子市都市公園条例の規定による収入が見込まれる。															
(2) 他市の状況、合併協定項目等 山陰地方には、都市公園内に猿を飼っている都市は殆んどなく、状況も異なっている。															
(3) 事務事業評価の反映状況 評価結果...効率化・改善 管理運営形態を指定管理者制度導入により管理代行施設として運営する。															
目的別 性質別															